

# 社会文教建設常任委員会 管内視察報告

2021年12月14日（火）

## テーマ：「タブレット端末を使った授業視察」

視察場所：津久見小学校

視察内容：3年理科「電気を通すもの 通さないもの」

指導教諭：後藤龍太郎教諭

参加者：社文委員7名・他の議員1名 事務局1名

計9名

### <視察目的>

今年度より、津久見市内の各学校の児童生徒に、一人1台のタブレット端末が整備された。いよいよICT教育が本格的に始まったと言える。その整備されたタブレット端末が、教育現場でどのように活用されているのかを、実際に授業を参観することにより、現状と課題を把握する機会とする。



### <議員からの質問・感想>

・子どもたちは、IPADの扱いになれている。出された課題に対して、しっかりと考えていた。

・通常は先生が一人だが、本日は支援員もいたので指導が行き届いていた。

・Wi-Fiの電波が届くなどの環境を整えることも大切である。

・美術などの授業では、有効的ではないか。

・習熟が高い子とそうではない子のバランスをどうとるかが難しいのではないか。

回答・・・個人ごとの集約が出るので、習熟の度合いをつかむことができ、次の指導に生かしたり、評価などができやすい。

・子どもが、勝手にチャットとかをやることができるのか。

回答・・・使用禁止の状態にしている（制限をかけることができる）

### <授業者より>

・ICT支援員が、週に1回ではなく、多数回配置できるようにしてほしい。

・教師用のIPADなどは、まだまだ教師個人のものを使っているため、その整備も考えてもらいたい。